

Application for Participation

Associated Schools Project (ASP)

for Promoting International Education

「中学生として、牟呂校区を考える」

～ 地域のために今できること 支えられる立場から支える立場へ ～

Outline of the way the Project(s) will be implemented in the institution

(please use extra sheets if necessary)

Description of the Project (プロジェクトの概説)

本校は、豊橋市の西部に位置し、校区は田園が広がる農業地域と団地・アパート・マンション等の開発が進む商業地域が混在している。農業地域には、昔からの居住者が多く三世同居の世帯も多い。一方、商業地域は、隣接する豊橋港の発展に伴い宅地の開発が進んでおり、転居者の増加が著しい。自治会自体の結束は固いものの、転居者があり自治会に加入しない家庭も多く、新旧住民の仲間意識を高めることが課題となっている。

地理的側面から見ると、本校は海拔1m未満の場所に建っており市内で最も津波の危険が高い。校区全体も海に面した低い位置にあり、津波発生時を想定した避難等の対応が課題となっている。

以上のことを踏まえ、本校では、学校が地域のためにできることは何かを考えてきた。「地域の方と学校が協力して行う活動」や「地域に貢献する活動」を行うことによって、生徒のなかに地域の一員としての自覚が育まれていくことを願っている。

Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

1 地域の方と学校が協力して行う活動

① 牟呂用水清流化運動

校区を流れる牟呂用水およびその周りを地域の方と生徒が共に清掃する活動である。生徒と校区民、校区民どうしが交流を図り、校区の美化に取り組むことを目的としている。

② あいさつ運動

「あいさつの牟呂」をスローガンに掲げ、生徒と地域の方が協力をし、さわやかなあいさつを校区に広げていくことを目的とする。

2 地域に貢献する活動

① 支える立場として災害に備えよう

校区は、海が近い上に海拔が低く地震が起きた際には津波の被害を受ける可能性が高い。また、埋め立て地も多く液状化の恐れがある地域もある。(津波ハザードマップより) そういった地域の特性を踏まえ、震災時の対応を学ぶことにより、地域を支える立場としての個々の自覚を高める。

② 地域のお年寄りと交流しよう

地域のお年寄りに感謝の気持ちを込めて年賀状を書くことにより、お年寄りをいたわる気持ちと地域のために尽くしていただいたことへの感謝の気持ちを表す。また、お年寄りを大切にしていこうとする心を育てると共に、地域社会との交流を図る。

Execution (プロジェクトの実施)

(e.g. through a specially designed course, through an existing course(s) or as an extracurricular activity)

1 地域の方と学校が協力して行う活動

① 牟呂用水清流化運動 (右写真参照)

これまでは、校区の各団体から協力を得て行っていたが、3年前から団体に属していない本校の保護者にも参加を呼び掛けてより多くの人たちが交流を図りながら活動ができるようにした。また、牟呂用水の周りを憩いの場にできないかと考え、清掃に加えて牟呂用水の周りを花で飾る活動も行われている。



○ 農閑期の期間、牟呂用水の水がなくなる10月下旬に行われる。全校生徒が学級ごとに牟呂用水の割り当てられた場所に行き、用水の中や周りの清掃を行う。保護者は生徒と共に清掃活動を行う。各団体のみなさんは団体ごとに、ごみを収集したり、収集したごみを処理場に運んだりする仕事を担う。

○ 清掃活動と並行して、園芸委員会の生徒はプランターに花を植え、それを牟呂用水沿いに等間隔で置いていく。以後、プランターへの水やりや草取りは、園芸委員会が継続して行う。また、春には花の植え替えも行う。

○ 清掃活動と並行して、園芸委員会の生徒はプランターに花を植え、それを牟呂用水沿いに等間隔で置いていく。以後、プランターへの水やりや草取りは、園芸委員会が継続して行う。また、春には花の植え替えも行う。

② あいさつ運動 (右写真参照)

校門では生活委員会とボランティアの生徒が登校してくる生徒に「おはようございます」とあいさつをする。また、生徒の通学路の数か所には保護者が立ち登校中の生徒や道行く地域の方にあいさつをする。生徒のみで行う時と、生徒と保護者が一緒になって行う時がある。この活動も年々生徒の中に根付いてきており、ボランティアを含めて参加する生徒が100名を超える時もある。



2 地域に貢献する活動

① 支える立場として災害に備えよう

炊き出し体験や身近なものを使った介護体験、救急救命体験他、さまざまな救護に関する活動を実際に体験し、いざというときに地域の一員として、地域の皆さんを支えることができるようにしている。2年生で必ず行うようにしているが、2年の体験に加えて、他の学年で行うこともある。

② 地域のお年寄りと交流しよう

地域には、1500名を超えるお年寄りが住んでいる。生徒は、一人1~3枚の年賀状を作成しお年寄りに送っている。相手のことを考えながらイラストや飾りを駆使した心温まる年賀状作りを一人一人が心がけている。

3 活動を続けるためのESDカレンダー

月	清流化運動	あいさつ運動	支える立場として 災害に備えよう	地域のお年寄りと交流 しよう
4		年間計画立案		
5		生徒のみ		
6		生徒のみ		
7		生徒のみ		
8				
9	各団体への要請、事前打 合せ、準備	生徒・地域の方		
10	実施	生徒のみ		老人会との連絡
11		生徒のみ	計画・準備	計画・準備
12			準備	実施
1		生徒・地域の方	実施・まとめ	
2		生徒のみ		
3				

Type of materials to be used (使用する教材)

1 地域の方と学校が協力して行う活動

① 牟呂用水清流化運動

- ・かま（大人用）
- ・電動草刈機（大人用）
- ・ごみ取り物干し竿
- ・軍手
- ・ごみ袋
- ・軽トラック（ごみ収集用）
- ・プランター
- ・花の苗
- ・土
- ・肥料
- ・移植ごて

② あいさつ運動

- ・あいさつ運動表示横断幕

2 地域に貢献する活動

① 支える立場として災害に備えよう

- ・非常時用グッズ（固形燃料，非常時用食料，寝袋，他）
- ・救命グッズ（三角巾，包帯，マウスピース，他）

② 地域のお年寄りと交流しよう

- ・年賀状約1500枚（地域に住むお年寄りの数だけ）

Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

- ・行事等を実践していく中で、必ず振り返りを実施し、生徒の自己評価を次回の活動に生かす。
- ・地域の方の声を聴き（学校評議員、PTA、保護者他）次の活動に生かす。
- ・活動に取り組む姿勢を記録し、ボランティア精神の育つ様子を評価していく。

On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター（※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会）に活動のレポートを提出します。）

Date (日付)

Principal's name (校長名 (※直筆))

Position, (役職)

Institution's name (学校名)